

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

作成主管課	市民活動課
	総務課
関係課	
施策名	地域コミュニティ
施策コード	6-2-2

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第6章 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕
	小政策	2 地域の大切さを知り、協働による地域づくりを進めます
現況と課題	<p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、本市においても多大な被害をもたらしました。その中で、被災した市民自らが、自発的に「共助」の精神により、互いに助け合う活動が生まれ、改めて「支え合い」によって社会が成立するという認識が深まりました。しかしながら、少子高齢化、情報化などの進展により、「支え合い」の基盤となる地域の持続可能性が危ぶまれる現状にあります。</p> <p>本市では、行政事務連絡組織としての行政区あるいは自治会などが中心となり、里親制度による道路や公園の維持管理活動、防犯パトロール活動、消防団活動、さらには地域独自の伝統行事といった、ボランティア精神が豊かな市民による活動が実施されてきました。</p> <p>今後は、安心・安全なまちの構築や地域独自の文化を継承、創造していくためにも、本市の強みである「市民の力」を生かして「共助」の意識を醸成し、持続できる地域コミュニティの育成及び支援を展開する必要があります。</p>	
施策目標	地域の絆・連帯感の意識の醸成を図り、各種の活動支援及び育成を推進します。また、地域活動の場となる地域集会所等の維持、整備を支援します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市民活動(地域活動)に参加している市民の割合	市民実感度	25.160	32.840	32.930			
	加重平均値	1.831	2.124	2.141			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		78.430	77.910			
	加重平均値		3.184	3.107			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
地域集会所の数	目標値	件		173	173	173	173	173
	実績値	件	173	173	173			
	達成度	%		100.00	100.00			
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	・地域活動の場となる地域集会所の数を指標とした。
	目標値設定の考え方	・現在のある地域集会所の維持・整備を目指す。

2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	<p>市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民自らが自発的に「共助」の精神により、互いに助け合います。 良好な地域社会の形成のため、地縁団体の申請を行います。
行政の役割	<p>市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各行政区、自治会などで実施している道路・公園里親制度、防犯パトロール活動、地域独自の伝統行事等を広報し、地域の絆・連帯感の意識の醸成を図る。

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地縁団体として2団体認可をした。 コミュニティ助成事業において、コミュニティセンター助成を2団体に助成した。 被災地域集会所補助事業で、4団体へ補助した。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)

○市民実感度指標と数値指標の分析による当該施策の位置

領域 I 現状を維持しつつ、効率化を目指す領域
 領域 II 施策を構成する事務事業及び事業内容等を見直し市民実感度を高める必要のある領域
 領域 III 施策並びに構成する事務事業の必要性を検討する領域
 領域 IV 施策の重点化を図り市民実感度を高める必要がある領域

指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価

- 数値指標は、地域集会所の数としており現状の数を目標値としている。
- 地域集会所の新築や改修費用を補助することで、地域コミュニティ活動を支援していると考えられる。

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

- 施策目標を達成するための事業構成は妥当である。

残された課題

平成26年度以降に残る課題, その要因として考えられること。

- 地域の活動を支援するため、地域コミュニティ活動を支援する助成制度及び活動に必要な備品の助成制度の創設
- 小規模行政区において、地域住民への十分な説明を実施し適正規模の推進を図る。

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成27年度に向けた施策方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に助成制度を検討し、27年度からの実施を目指す。
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価		
			成果指標	単位	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成23年度		平成24年度	平成25年度
1 行政区事務	行政区は、地域住民の自主的なコミュニティづくりの中心であり、行政と地域住民との連携を図ることにより、地域振興の発展を推進する。	義務的事業	行政区加入率	%	84.8	83.9	81.5	市単	52,137	52,353	55,349	義務的事業
2 地縁団体認可事務	行政区、自治体等が不動産の資産を団体名義で不動産登記ができないという財産上の問題があったが、地方自治法の改正により、市町村長が地縁団体を認可することで法人格を持ち、不動産等を団体名義で保有し登記ができるようになる。地縁団体の申請を受け、審査し、認可を行う。	義務的事業	市内認可地縁団体	団体	30	32	33	市単	0	0	0	義務的事業
3 コミュニティ助成事業	宝くじの収入を財源として(財)自治総合センターが、行政区や自治会のコミュニティ活動に必要な備品の整備と集会所(コミュニティセンター)の整備に対し助成を行っている。	政策的事業	助成団体助成金	件円	1 2,200,000	1 2,300,000	2 15,700,000	その他補助	2,200	2,300	15,700	2
4 地域集会所建設(増改築)事業(被災集会所含む。)	自治活動に必要な地域集会所を新築する場合や既設の集会所を修繕する場合、地元の負担を軽減するため、その経費の一部を補助し、地域コミュニティ活動の拠点整備を図る。また、東日本大震災で被災した地域集会所の改修に対しては、平成23年度から平成25年度まで補助する。	政策的事業	補助金交付団体補助金額	団体千円	39 15,625	13 5,356	5 1,504	市単	15,625	5,356	1,504	1
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
事業費合計									69,962	60,009	72,553	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 地域コミュニティ

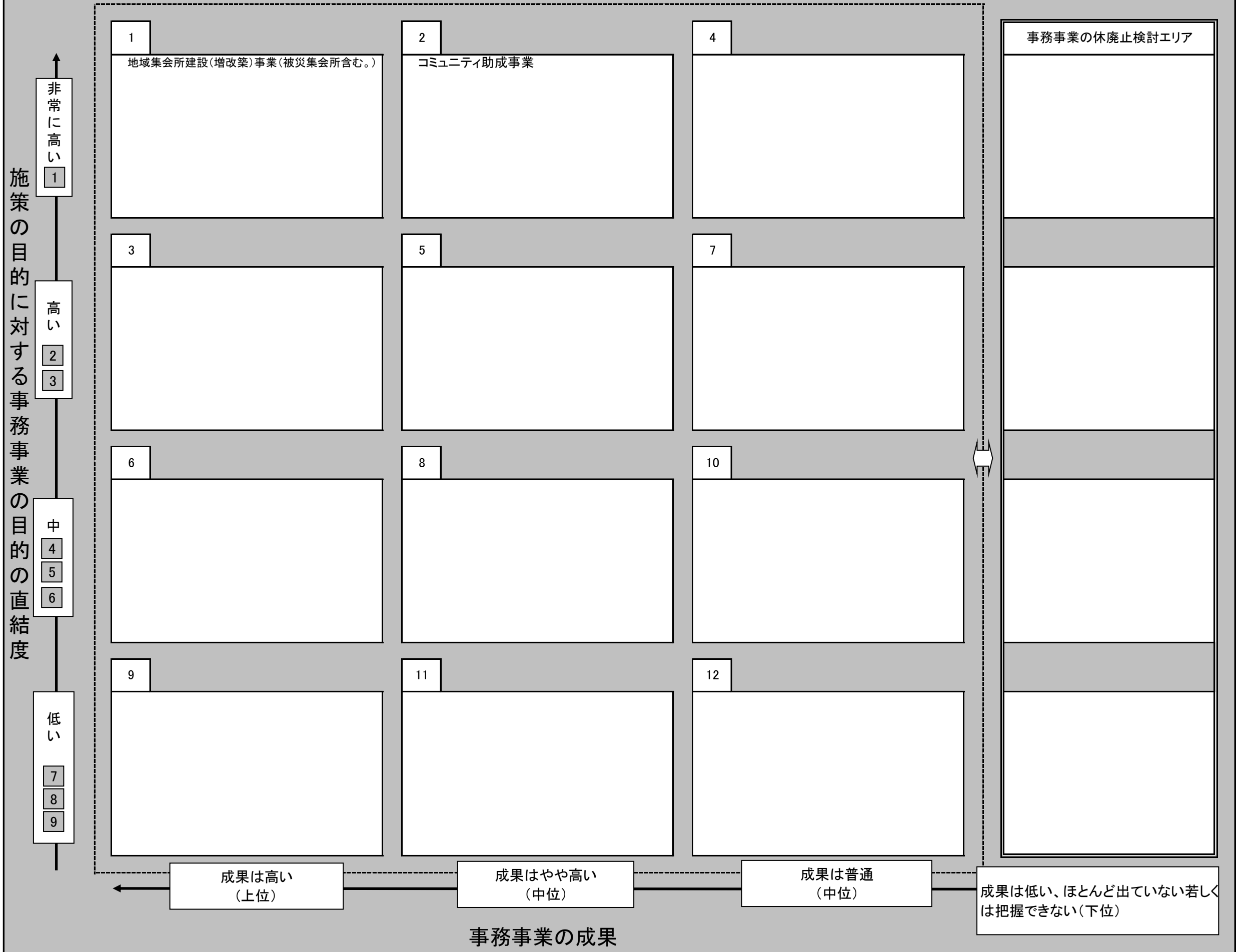


法定受託事務(義務的事業に分類)
行政区事務 地縁団体認可事務

事務事業の成果基準の説明

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 地域コミュニティ



法定受託事務(義務的の事業に分類)

行政区事務
地縁団体認可事務

事務事業の成果基準の説明